

# 自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチイケアセンター津久野

作成者: 櫻本 壮史

作成日: 2023年 11月 13日

運営推進会議における評価実施日: 2023年 12月 5日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所自己評価	記述	運営推進会議における外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>						
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	B	企業理念の他にホーム独自の「家庭的な環境で安心・安全に過ごしていただく」という理念に向けて日々、実践しています。		
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	C	コロナ禍以降、外出などの機会は減りましたが、落ち着いて来られたのでレクリエーションで散歩など行っております。また感染状況を見ながらですが地域の方との交流も復活してゆきたいと思っています。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A	毎回、色々な意見や提案等があり、運営の参考にさせていただいています。それぞれの分野の委員の方々がいらっしゃる場ですので、それぞれの分野の意見、アドバイスがありサービスの向上につながっています。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	B	コロナのため現在は休止中ですが、これまで定期的に堺区GH連絡会やそのイベント毎に行政に協力を仰いだりしながら関係性を築いていけるよう取り組んでいます。包括にも間に入っていたいただき橋渡しをしていただく等、関係性は少しずつ築かれていると思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	B	身体拘束について研修を行い身体拘束のないケアに取り組んでいます。	A	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	B	身体拘束同様に研修を行い、職員にストレスのない職場作りをしていくことで虐待防止に努めています。また、メンタルヘルスの研修を行い、定期的なストレスチェックによりスタッフの心身状態の把握に努めています。	A	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A	成年後見制度を利用されているお客様がおられ、必要となる場合には今後も行政や社協と連携を図りながら対応してまいります。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A	本人様や、そのご家族様に契約内容等を納得していただいた上で契約の締結を行っています。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B	面会時や、お電話した際に要望があればお伺いし、できる限りの対応を図っています。また本社より顧客満足度調査を年に1度行っていてホームの運営に反映しています。	B	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	B	メンタル面の状況観察も踏まえ、スタッフとは話しやすい雰囲気作りを心がけ、意見等も出しやすい環境を整えています。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	B	給与水準は低いが各職員の意見を大切にし、やりがいや働きやすい環境整備に努めています。	B	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	B	新人研修や定期的な面談が設けられています。コロナ前は、外部研修等への参加や他事業所の見学等に行き職員育成に努めています。	B	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	C	コロナ前は堺区のみならず各区の取りまとめ役等ともグループホーム連絡会等で交流をはかれておりサービスの向上に役立っています。また年に2度は全区GHで集まり勉強会等を行っております。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A	ご入居時は不安や孤独感を感じるため、スタッフ一人一人がじっくり時間をかけて緊張をほぐし、不安を取り除いていけるようなケアを行っています。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	B	本人様による年賀状をご家族、ご親戚に送るようになっています。また、以前は馴染みの理髪店に通ったりしており、これまでの生活と結びついたケアに努めています。		

# 自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチイケアセンター津久野

作成者: 櫻本 壮史

作成日: 2023年 11月 13日

運営推進会議における評価実施日: 2023年 12月 5日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進会 議 におけ る 外部 評価	記述
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	C	お客様との関わりあいの中で本人の思い、要望を把握していくように努めています。また、スタッフ間で、そのお客様に何が出来るのかを日々の話し合いの中で模索しています。		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	B	カンファレンスを月に1度行いお客様の一人一人がより良い生活を送っていただけるように、お客様・家族様・医師・スタッフからの情報収集に努め介護計画を作成しています。	B	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A	日常生活の中で普段とは違った言動や新たな気づき、また改善されたことや体調不良等。主に、その方の普段の生活では見られないことについて記録し、その情報を介護計画等の見直しに役立てています。	A	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	B	往診医以外に不定期通院が必要な方にはタクシーを手配し同行するなどの支援を行っています。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A	だんじり祭りを見物するなどでは地域の方々と触れ合う機会もあり、この地域での風物詩を楽しんでいただけるように支援しています。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A	堺市中区のクリニックと提携しており、日頃より連携を図っています。24時間体制ですので急な体調不良時でも対応していただいています。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A	近隣の馬場記念病院と日頃から連携を図っています。病院関係者とも情報交換し、退院時もスムーズにケアにあたる事が出来ています。	A	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	B	ホームでの出来ること出来ないことを家族様に伝えた上で掛かりつけ医からの指示のもとで行動しています。できる限り本人様・家族様の希望に添えるよう往診医、訪看と話し合い対応しています。	B	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	B	緊急対応のマニュアルがあり、定期的に研修を行っています。また緊急を要するであろう可能性のあるお客様については定期的にあるカンファレンス等で再確認しています。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A	年に2度の防災訓練を行っており内1回は消防署員の指導の下で行っています。また、新しく入られた職員の方には積極的に参加して頂き、緊急時の避難経路・避難場所は周知徹底しています。	A	

# 自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチイケアセンター津久野

作成者: 櫻本 壮史

作成日: 2023年 11月 13日

運営推進会議における評価実施日: 2023年 12月 5日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所自己評価	記述	運営推進会議における外部評価	記述
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	B	お客様、それぞれの人格を尊重し、一人の人として思いやりを持ったケアを行なっています。また、社内の研修を通してスタッフ全てが教育を受け学んでいます。	B	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	B	施設としての段取り等はありませんが、お客様のペースやニーズに合わせて対応しています。上記で述べたように本人様の意向を聞きだし支援しています。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	B	お客様に希望をお伺いしおやつを選んでいきます。食事の盛り付けや片付け等をしていただき、できる方には包丁を使ったり、ピーラーで皮むき等のお手伝いをさせていただいています。	A	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A	食事量や水分量はそれぞれで記録しており水分摂取の困難なお客様には好きな飲み物やゼリー等で対応しています。栄養が十分でないと思われるお客様には経腸栄養剤で対応しています。個々の状態を把握し対応できるように努めています。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A	毎食後、本人様の能力に応じた口腔ケアを行っています。また、訪問歯科の使用も検討しております。	A	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	B	排泄の失敗がないようお客様の排泄リズムを把握し、それぞれのリズムに合わせてトイレ誘導の声かけを行っています。	B	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	C	午前でそれぞれ入浴日を決めていますが、その日の気分、状態に合わせて臨機応変に対応しており、週に2~3回のペースで入浴していただいています。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A	お客様の生活リズムに合わせて支援しています。生活歴や好みを尊重し、安全面にも考慮し、体力の低下している方には午睡をしていただく等安心して眠っていただけるようにしています。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	B	服薬時は誤薬防止の為、二人体制で確認を行っています。また、担当者、確認者を決め確実な服薬が行えるようになりました。用法・取り扱いについては掛かりつけの医師や薬剤師に教えていただきながら使用しています。	B	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	B	家事等を分担し、役割を担ってもらって張りのある生活を送っていただいています。また一人ひとりのニーズに合わせて買物が好きなお客様には買物を、散歩が好きな方には散歩等していただき気分転換を図っています。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	B	コロナも落ち着いてきている為、散歩等の外出を再度行うようになっています。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	D	紛失等のトラブルも起こりうるため、お金の管理は全員施設で行っています。外出し、買物でお金を払う時にはお金を前もって手渡しレジで払っていただくようにしています。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	B	お客様からの希望はほとんどございませんが正月や書中見舞いなど季節のものはこちらから促し書いていただいたりしています。電話については家族様より何か贈り物をしていただいたときや家族様からお電話いただいた時等に電話でお話できるように支援しています。		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	B	廊下壁面に利用者様の写真を貼ったり、季節(時期)がわかりやすいように時期それぞれの製作物を展示しています。また、居室前やイスに名前を貼ったり、わかりやすい空間作りに努めています。	B	

# 自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名：ニチイケアセンター津久野

作成者： 櫻本 壮史

作成日： 2023年 11月 13日

運営推進会議における評価実施日： 2023年 12月 5日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所自己評価	記述	運営推進会議における外部評価	記述
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)						
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	B	本人様から自発的に何か言われる事は少ないですが、スタッフからの声掛けにより意向をくむよう心がけています。		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	B	入居前、入居後も利用者様、家族様からアセスメントにより情報を集め、日々のケアに生かしています。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	B	毎日のバイタルチェック、定期的な訪問看護、往診等により状態を確認し、状態に合った福祉用具を選定し使用しています。	A	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	B	体操や食事など決まった時間もありますが、基本的に皆様自由に過ごしていただいています。		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A	物にもよりますが、入居時にずっと使っていた物、思い出のある物を持ってきていただくようにしています。	A	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	B	毎日ローテーションで外出が出来る方はスタッフ同行で散歩を行っております。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえ、役割や、楽しみごとを行うことができています	A	本人様の状態によって、食事の盛り付けや洗濯物干し等のお手伝いしていただく事を割り振り、レクではみんなができるようスタッフがフォローしています。		
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A	入居者様の間での会話は一部の方々になるので、スタッフが間に入るようにしています。	A	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	D	もともと少なくありましたが、以前は地域のお祭りに参加したり、だんじりを見学したりしていました。しかしコロナのため最近では更に減少しています。		
49	総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	B	地域との関りは少ないですが、長く勤めるスタッフが長く、本人様のこれまでの状況・状態を把握し、その上で日々安心して過ごしていただけるよう努めています。	B	

総評

ご多忙の中ご協力頂き誠にありがとうございました。  
 管理者が変更になり6ヶ月、様々のご意見を頂き感謝しております。  
 今回ご指摘いただきました内容につきましては、今後の推進会議にて改善策をご報告させていただきます。

現状におけるご指摘事項・事業所の課題

コロナ渦だった為、地域の方との交流が少なくなってきたように感じる。  
 もっとこのホームの事を知ってもらえる機会を増やせばどうか？

参加者サイン欄

大道千重子	岩井典子	島 祐之
藤井尚美	村田雅行	